



砥部町



社協だより

平成26年1月1日発行

第32号 2014



開催しました! 第三回 社協福祉 フェスタ



平成二十五年十月二十日(日)、砥部町中央公民館において、町内を中心に福祉活動の取組みを行っている団体が一堂に会し、今年も「砥部町社協福祉フェスタ」を開催しました。会場内では五十を超える団体が出展・発表会を行い、約八百名の方が来場されました。

※P2に続く

謹賀新年



社会福祉法人
砥部町社会福祉協議会
会長 樋口泰幸

新年あけましておめでとうございます。

町民の皆様には、希望に満ちた新春をお迎えのことと、心よりお喜び申し上げます。日頃より、砥部町社会福祉協議会の事業並びに諸活動に対しましては、温かいご支援を賜り、心よりお礼申し上げます。また、東日本震災により、今なお困難な生活を余儀なくされている被災者の皆様には、本年のご再興と躍進を心よりお祈り申し上げます。

さて、社会・経済情勢が激動している中、社会福祉を取り巻く環境も、年々厳しさを増しています。高齢化の影響はもとより、少子化の進行による「人口減少」の始まりは、将来の社会生活に深刻な影響を及ぼすものと考えられます。社会福祉協議会といたしましても、福祉面から地域の変化を的確に把握して、ふるさとで安心して暮らし続けられるように、様々な地域支援に取り組んでまいります。

昨秋実施された「第3回社協福祉フェスタ」は例年にも増して地域の連携と絆のかかわりを強く反映したのではないかと考えます。会場には、早朝から民生児童委員協議会、ボランティアの皆様をはじめ、関係団体の皆様からも強力なお力添えを頂き、あいにくの天候にも関わらず、お客様の出足も良く、お陰様で大盛況のうちに終えることができました。まさにコミュニティの持つ底力と言えるのではないのでしょうか。

本年も役員一同、「誰もが安心して暮らせる福祉のまちづくり」を目指し、更に精進する所存でございます。皆様方のご協力をお願い申し上げます。年頭のご挨拶といたします。

第3回 社協福祉フェスタ

このフェスタの開催に際し、多くの方々にご支援・ご協力
いただきましたことに深く感謝を申し上げます。



砥部中 brassバンド部によるオープニングセレモニー



東日本大震災復興支援として宮城県の秋刀魚を販売
400匹が見事完売しました！



砥部中学校や大学生、専門学校の生徒さんがボラン
ティアとして大活躍してくれました



フェスタには大勢の子どもたちも来場してくれました



森川隆先生による、フェスタ記念講演。涙あり、笑いあ
り・・・1時間半の講演があつという間に終わりました

今回の福祉フェスタは、広田小
学校生がスタンプリリーの妖怪
を作成してくれ、砥部中学校や医
療技術大学、河原医療福祉専門学
校の生徒さんがボランティアに積
極的に活躍され、異世代交流が各
ブースで見られました。交流が図
れたことで、地域の絆の幅をさら
に広げられたのではないかと思
います。若い世代が社会貢献活動を
体験し、豊かな心をもつ大人とな
り、町民の一人として安心して笑
顔で暮らしていける町づくりを目
指してくれればと願っています。

赤い羽根共同募金のご協力 ありがとうございます



福祉フェスタに参加して頂いた団体より、ハザードの売り上げの一部をご寄附頂いております。お預かりしたご寄附は、町内の福祉に役立てられるよう共同募金会へ入金させて頂きます。

【寄付団体】

- ・民生児童委員協議会
- ・アスパラボランティアグループ
- ・ボランティア連絡協議会
- ・ふれあいいきいきサロン連絡協議会

ありがとうございます



※共同募金プールの売り上げの一部は、東日本大震災の義捐金としても活用させていただきます。みなさまのご協力ありがとうございました。

社協ニューフェイス

十一月から入職いたしました中井美佳と申します。

松前町で育ち、松山市に住んでいます。が、働き始めて砥部町の魅力を再認識しています。



明るさと元気を取り柄に、皆様のお力をお借りしながら一生懸命尽力して参ります。これから砥部町のこともっと知り、益々縁の深い町となるように頑張りたいと思いますので、どうぞよろしくお願いたします。

シリーズ⑤

あの人・とべ人

砥部子育て支援団体 ぽっかぽか 代表

村上 明子さん



Q 村上さんのプロフィールを教えてください

小学校三年から六年まで砥部で過ごしました。親の転勤で一度は香川県へ転居しましたが、短大進学を機に再び砥部へ転入し、それからはずっと砥部人です。現在は、中三・中一・小二の元気いっぱい三人の男の子のママです。

Q ぽっかぽかが発足の経緯について教えてください

短大卒業後、私立幼稚園の教諭として勤務していましたが、結婚・出産を機に退職。復職するつもりでしたが、育児サークルに参加する中で、子育てに悩んでいるお母さんの生の声を聞き、「幼稚園の先生は自分以外でも出来るけれど、砥部のお母さんの生の声を活かし、無いものを作ったり、親子支援ができるのは誰にでもできることではない」と思い、発足する決意をしました。役場や保健センターの方々にも協力頂き、平成十七年に発足しました。

Q ぽっかぽかの活動内容について

- ・とべ子育てつどいの広場「ぽっかぽか」火・土曜日開催
- ・出前のひろば「ぽっかぽかひろば」
- ・とべ子育てコーディネーター事業
- ・キッズ向け事業
- ・レンタル・リユース事業
- ・などなど、幅広く活動しています。

Q ぽっかぽかの特徴は？



ぽっかぽかは、いつ来てもいつ帰ってもいい、子育て親子の「居場所」です。保育士や看護師、子育て経験豊富なスタッフが常駐しているので、安心して過して頂けます。また、お母さんの困り事には可能な限り迅速に対応する体制になっています。最近では「乳

幼児健診の待ち時間が長くて、子供がぐずってしまふことという声があったので、保健センターに健診待機中の親子のサポートを申し出、現在はおもちやを持参してサポートに入っています。

Q 日々多忙な村上さん、ストレス発散法は？

仕事をしている中で、接する子供たちの愛くるしい仕草や笑顔に癒されています。バドミントンのスポ少の監督兼コーチもしているので、小中学生から悩みを相談されることも多いのですが、悩みを一緒に解決できたときはとても嬉しく思います。

Q 今後の課題はありますか

これからは特に、お母さんからの悩みや要望を、一緒に解決したり、必要時には専門的な窓口やサービスに繋げたりといった、コーディネーターに力を入れていきたいと思えます。あとはやはり安定した財源の確保と、地域の皆さんにぽっかぽかを知ってもらえるようなPR活動が課題です。

Q 最後に町民の皆さんへメッセージをお願いします

一生懸命子育てしているお母さんは、不安感や孤立感を感じがちです。スーパードなど地域の人から「かわいいな」と声を掛けてもらえたり、「少し抱っこしようか」と助けてもらったり、お母さんはその日一日がとても幸せなものになります。是非、子育て中のお母さんを見かけたら、子育てを応援する「素敵な一言」を掛けてあげてください。



NPO 法人とべ子育て支援団体 ぽっかぽか

〒791-2101 砥部町高尾田160
TEL/FAX 089-958-3405
e-mail pokkapoka.tobe@gmail.com
ホームページ <http://pokkapoka.net/>

研修レポ

ハクチヨウが舞う町、宮城県美里町編

みさとまち



F中学校での福祉教育活動の様子。バーチャルマップを用いて災害時についてグループで演習。メンバーには中学生ほか地域住民も一緒に加わっている。

十一月十日～十六日（七日間）災害ボランティア中核スタッフ養成研修にて、私たち愛媛チーム（県社協・各市町村社協八名）は宮城県美里町に行ってみました。内陸部でも砥部町とは風景が異なり、ハクチヨウの群れをあらうこちらで見かける広大な田園地帯。そんな風情のある美里町でのミッションは、東日本大震災の被害を受けた地域及び社協の後方支援と、今後起こりうるであろう南海トラフ地震への対策として、災害ボランティア等の経験値の高い美里町社協の取り組みや地域福祉事業に参加させてもらいました。

特に今回参加した、福祉教育事業は、地域の小中学校に出向き、グループワークを通じて子どもたちに災害や防災の意識づけに繋がる内容であり「子供たちにこの町を好きになってもらいたい」「子供たちの心を育みたい」とのおもいを含めて社協が地域や学校との協働で、福祉事業を取り組んでいる姿が同じ社協マンとしてとても感銘をうけました。

美里町社協近くにできた新行政区では、震災の影響で引越してきた方が三十八%を占めており、地域の繋がりがまだ希薄といえる。愛媛チームの後方支援では、住民の意識を把握するためのアンケートを二百十八世帯対象に調査。また美里町社協は新行政区の住民が集える企画「ゆとりカフェ」を開催。その中で愛媛の特産品を提供するバザーを開きました。

「来てくれるのか」と心配の中、予想をはるかに超える住民の方が参加してくれました。充実した今回の研修に参加させてもらった愛媛チームは、遠く離れた美里町の今後の地域発展を願ってやまない。



砥部町では温州みかんの提供、(株)協和酒造さんに地酒を提供していただき、多くの住民の方に楽しんでもらいました。



新行政区の住民を対象に社協がイベントを開催。愛媛の特産品を提供しました。目玉は蛇口から出るオレンジジュース。

砥部町社会福祉協議会 臨時職員募集

勤務部署	訪問介護スタッフ(サービス提供責任者)	障がい者相談業務従事者
募集人員	1名	1名
資格	介護福祉士等	障がい者相談支援従事者
	上記資格を要する50歳以下の方 パソコンの基本操作(ワード・エクセル)のできる人	
勤務日 勤務時間	月曜日～金曜日 8時30分～17時30分 都合により時間外勤務あり	
雇用期間	平成26年3月1日～ ※年度更新あり	
賃金など	日給8,000円	
	労働保険・社会保険・通勤距離2キロ以上は通勤手当を支給	
募集期間	1月6日(月)～1月31日(金) ※1月31日(金)消印有効	
申込方法	履歴書(写真を貼る)・資格証明書(写)を持参または郵送で提出してください。 持参の場合は、土・日曜日・祝日を除く8時30分から17時30分まで。 提出書類は返却しません。	
採用方法	面接により決定。面接の日程等詳細は、本人へ通知します。	
お申込み・ 問い合わせ	〒791-2132 砥部町大南719番地 ☎(962)7100	

ホームヘルパー(パート)
常時募集中!!



～あなたの優しい手を求めています～

平成
26年度

簡単ヨガ講座



講師 杉山 弥保 先生

呼吸に合わせてポーズをとるので、身体の芯から元気になれます。
呼吸法・ポーズ・ちょっとしたお喋りなどを交えながらの楽しい
レッスンです。自分と向き合う時間、ご褒美の時間にしてもらえたら
と思っています。この機会にヨガを学び、地域や施設での健康づくりに
役立てませんか。

上半期の部募集!!

- 【日 時】 平成26年4月～平成26年9月
【昼の部】(概ね第2、第4金曜日)午後2時～午後3時30分(1時間半)
【夜の部】(概ね第1、第2、第3火曜日)午後7時～午後8時30分(1時間半)
- 【場 所】 砥部町老人福祉センター 2階 集会室
- 【募集人数】 各部30名 ※ 定員になり次第、募集を締め切らせていただきます。
- 【受講回数】 【昼の部】12回 【夜の部】18回
- 【参加費】 【昼の部】：6か月間1,200円 【夜の部】：6か月間1,800円
- 【募集期間】 平成26年2月21日(金)まで
- 【準備物】 タオル・バスタオル・ミネラルウォーター・ヨガマット等
- 【参加資格】 砥部町在住の方
- 【申込先】 砥部町社会福祉協議会事務局 (☎962-7100) まで



平成26年度

はじめてのエアロビ教室

受講生
募集

エアロビクスは、スポーツ医学に基づいた、科学的理論を取り入れた有酸素運動です。
酸素を体に効果的に送り込み、心拍数を高め、そして呼吸・循環器系の能力を向上させま
すから、心と身体がリフレッシュします。

初級コースでは、基本的なステップからはじまり、徐々に長時間動けるようにしていま
す。40歳代から60歳代までの方で生活習慣病予防の運動をしたいと思っている方を対象と
したエアロビクス教室を開催します。

- 【日 時】 平成26年4月～平成27年3月(概ね第1、第2、第3火曜日)
- 【場 所】 砥部町老人福祉センター 2階 集会室
- 【講 師】 愛媛県エアロビクス協会事務局長
長尾揚子 (日本フィットネス協会・ADI)
※安全性に十分注意するよう研修を受けています
- 【募集人数】 20名 (定員になり次第、締め切らせていただきます。)
※当社協が実施しているヨガ講座受講生は申込の時からキャンセル待ちとさせていただきます。
- 【受講回数】 年間36回 (積極的な出席が見込まれる方)
- 【参加費】 3,600円(年間)
- 【募集期間】 平成26年2月21日(金)まで
- 【準備物】 タオル・ミネラルウォーター・ヨガマットまたはバスタオル
- 【参加資格】 砥部町在住の方
- 【申込先】 砥部町社会福祉協議会事務局 (☎962-7100) まで



ますます元気！ 介護予防教室

八倉いきいきサロンさん



八倉いきいきサロン

開催場所：八倉集会所
活動日：月1回程度
参加人数：約23名
内容：健康チェック
体操等

12月11日(水)八倉いきいきサロンさんにて、講師 松木紀子先生をお招きし、介護予防教室を開催いたしました。7名の方が参加され、松木先生のユーモア溢れるレクリエーション講座を楽しみました。終始素適な笑顔の八倉いきいきサロンの皆さん、これからも充実した活動を楽しまれて下さい。

ふれあい・いきいきサロンは、だれもが気軽に参加できる地域の「いこいの場」です。地域に住む住民同士の世代を超えた出会いの場、交流の場、仲間づくりの場であり、だれもが自由に参加できる「地域住民のための地域交流の場所」です。
町内では、高齢者サロンや子育てサロン、二十のサロンが活動しています。砥部町社会福祉協議会では、このような多くの人が集う場であるサロン立ち上げや運営に関する相談など、サロン活動の支援を行っています。

心配ごと相談所日程

生活上の悩みごとや心配ごとなど一人で抱え込まず、まずは相談してみてください。民生委員や社会福祉士など地域福祉関係者が心配ごとを真摯にお聴きします。法律的なご相談の場合は、無料弁護士（相談料は30分以内無料ですが、30分を超えた場合は費用が必要になります。）をご紹介します。

※ 秘密は固く守られます。電話でも随時相談ごとを受け付けております。☎962-7100

開催場所	開催時間	1月	2月	3月
広田老人憩いの家	午前10時～正午		4日(火)	
老人福祉センター		8日(水)		5日(水)
中央公民館			14日(金)	
老人生きがいの家		15日(水)		14日(金)



あなたの声をお待ちします

社会福祉協議会に関するみなさんからのご意見、ご質問がありましたら事務局までご連絡ください。

砥部町社会福祉協議会
イメージキャラクター「ホッと君」

砥部町まごころ銀行



【一般寄付】
(株) 丸與 博美 様
砥部焼陶芸館 様
西川 尚雄 様

平成二十五年十月
平成二十五年十一月
(順不同)

あたたかい善意を
ありがとうございます。
ございました。

「やさしさ」を抱きしめよう

編集・発行 社会福祉法人 砥部町社会福祉協議会
〒791-2132 愛媛県伊予郡砥部町大南 719 番地
(砥部町老人福祉センター内)

TEL (089) 962-7100 / FAX (089) 962-7186

メールアドレス info@tobe-shakyo.jp

ホームページアドレス http://www.tobe-shakyo.jp/

